

東京・大阪で「SR定期セミナー」常設開催!

SRの有効活用や機能をより良くご理解いただけるように定期的に「SR定期セミナー」を常設開催!! 「SR定期セミナー」はお時間のある時にだれでもご参加いただけるので、何回でも活用いただけます。また、SRの疑問、質問以外にも参加者の交流の場としてご活用いただいております。皆様、ご多忙とは思いますがぜひご出席賜りSR機器を効果的にお使いいただく為のお役立ちの場になればと考えております。



拡張性に優れた中核モデル
SRcomm セイフティレコーダ
コミュニケーション

手のひらサイズのコンパクトモデル
SR Pocket セイフティレコーダ
ポケット

映像録画機能を備えた高性能モデル
SR Video セイフティレコーダ
ビデオ

※セイフティレコーダは(株)データ・テックの登録商標です。

SR定期セミナー開催スケジュール

	2006年		2007年			
	12月	1月	2月	3月	4月	
東京	12/21(木)	1/25(木)	交流会開催のため、 休講とさせていただきます。	3/22(木)	4/26(木)	
大阪	12/20(水)	1/24(水)		3/23(金)	4/25(水)	

	2007年				
	5月	6月	7月	8月	9月
東京	5/17(木)	6/21(木)	交流会開催のため、 休講とさせていただきます。	8/23(木)	9/20(木)
大阪	5/16(水)	6/20(水)		8/29(水)	9/26(水)

※日程、会場は都合により変更する場合があります。変更になる場合は事前にご連絡いたします。

内容

導入時期を同じくするお客様同士での交流経験を主に、さらにお申し込み時に事前にいただいたご質問、ご要望、ご相談も取り込みながらセミナーを進めます。

参考例(昨年度実績)

- SRでわかること、できること
- 運転診断の項目、点数について
- SRの活用事例紹介

「運転診断結果」



場所

東京	(株)データ・テック 東京本社 (〒144-0052 大田区蒲田4-42-12)
大阪	ウェルシティ大阪 大阪厚生年金会館 (〒550-0013 大阪市西区新町1-14-15)

※参加には、事前登録が必要です。

SRセミナーへのお問い合わせは下記コールセンターまで

SR NEWSに関するお問い合わせはこちらまで

発行:株式会社データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12 コールセンター TEL:03-5711-7286 FAX:03-5703-7043
http://www.datatec.jp

今回は

各種の先進的事業に取り組んでいる埼玉県トラック協会さんにお邪魔しました!

ユーザー探訪 社団法人 埼玉県トラック協会殿

常務理事 石田昌彰 様にインタビュー



常務理事
石田昌彰 様

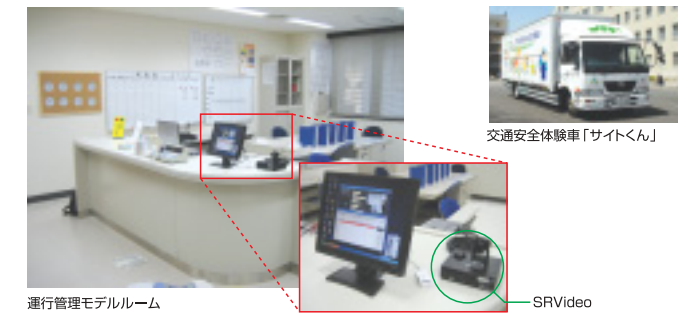
社団法人 埼玉県トラック協会

貨物自動車運送事業法に基づきトラック運送事業許可を受けた埼玉県内の事業所を会員として、事業の健全な発展を促進し、公共の福祉に寄与するとともに、業界の社会的地位の向上を図ることを目的とする団体です。

〒330-8506 さいたま市大宮区北袋町 1-299-3
TEL: 048-645-2771 FAX: 048-644-8080

先進安全自動車 (ASV) に関する提言書を国の4省庁とトラックメーカーに提出。ドライブレコーダーとしてSRを推奨!

トラックによる交通事故を減らそうと、埼玉県トラック協会(横塚正秋会長、2,135社加盟)は、先進的な安全トラックを開発しました。安全装置の一つに、運転の様子を映像で記録するデータ・テックの映像記録型ドライブレコーダーを採用し、1年にも及び実証実験を実施。この程、その成果を提言書に取りまとめ国土交通省、経済産業省、環境省及び警視庁、そしてトラックメーカー4社に提言しました。



運行管理モデルルーム

交通安全体験車「サイトくん」

SRVideo

●安全自動車特別委員会を立ち上げ!

■国やメーカーに任せ切りだった車輛安全対策。そこにユーザーの視点を生かすのが目的です。

当協会では、2004年7月、行政やトラックメーカー4社などに呼び掛け、安全自動車特別委員会を立ち上げ、安全装備の有効性と価格などを調べてきました。その結果、ASVに欠かせない装置として右記図にある5つの装置の装着を決定し、実証実験を行いました。というのも、これまでは行政の指導やメーカーが開発した車輛を何の疑問も持たずにそのまま使っていたという反省がありました。しかし、トラックについて熟知しているのは私達です。今回の提言書はユーザー、ドライバーの視点を安全対策に生かそうという目的の取り組みなのです。

埼玉県トラック協会殿仕様安全自動車



※「先進安全自動車 (ASV) に関する調査・研究報告書」より抜粋

●使用過程車に対する対応

■大部分を占める使用過程車の安全対策。それが避けて通れない重要な課題です。

新車については、今後ASVを装備したトラックが販売されていくことが予想されます。しかし、いま街を走っている車輛はどうすればいいのか? つまり現在走行している使用過程車の安全対策は、運送業界において避けて通れない重要な課題なのです。このため県トラック協会として国への提言もいわば必然だったといえます。またトラックメーカーは

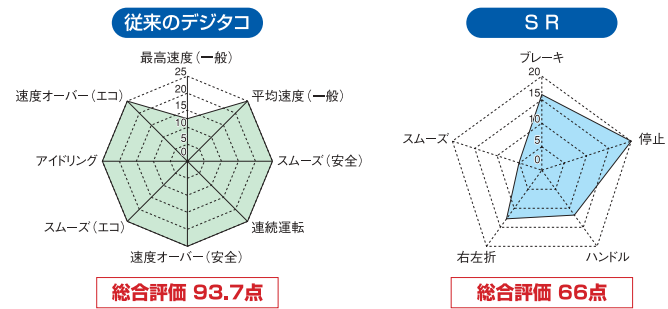
経済性の追求から安全性を第一へとシフト変更し、あくまでも“安全なトラック”に重点を置いたトラックづくりを目指してもらいたいと思っています。今回の提言は、我々地方トラック協会の立場からのもので、行政やメーカーはもとより、全国の業界の仲間たちが安全に取り組むきっかけにしてほしいし、足りないところはどんどん付け足してほしいと思います。今後、当協会としても全会員に安全対策の意識を周知徹底するとともに、その普及を図りたいと考えています。

●セーフティレコーダ (SR) を選んだ理由

安全運転の指導や運行管理にも実力を発揮。三位一体の経営改革を推進できるのはSR。

今回、当協会がドライブレコーダーを選択する際に重視したのは、「セーフティー (安全)」、「エコロジー (環境)」及び「エコノミー (省エネ)」といった3つの課題への対応力です。この3つを互いにリンクさせた三位一体の経営改革を推進できる要件を備えていたのがデータ・テックのSRでした。

●機能比較 (一つの運転をデジタコとSRで診断)



※「先進安全自動車 (ASV) に関する調査・研究報告書」より抜粋

- ハンドルやブレーキ操作、加速、減速などを解析して点数表示できる。
- 急ブレーキや急ハンドル時に画像を録画することができる。
- 異常な運転を示した場合の時間や場所を記録することができる。
- 安全運転の指導や運行管理が効果的に実施できる。
- エコドライブの推進で燃費の削減が期待できる。

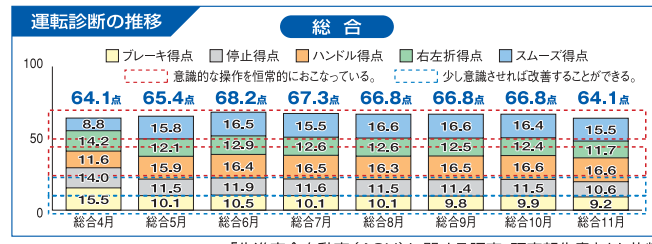
●SRの実証実験

実証実験の総予算は約1億4,000万円で合計98台の車輛に各種安全装備を搭載。実験車輛のうち新車は2台のみで、残り96台は既存の使用過程車に後付けで装置を搭載。これは、最も対策が必要とされる現在走行中のトラックへの安全対策を重視したため、使用過程車への搭載をメインとしたものです。

- 実施期間:平成17年4月より1年間 (SRの調査期間は4月~11月、データ収集は5月~11月、準備・解析で2ヶ月)
- 県トラック協会加入企業63社98車輛にモニター導入 (SRcomm+DVR:現モデルSRVideo)
- 実際の輸送業務を通して各種データ収集を実施

●データ・解析の推移

1ヶ月単位でデータの解析をデータ・テックに依頼し、連絡会議で効果測定結果の報告を求めました。「SRとは何なのか?」からスタートした取り組みですが、データ・テックや同社販売店の (株) ロジンのフォローアップ説明会などのサポートのおかげで会員間に浸透しました。一方、「こんな安全もあるのか」という新しい発見もあり、安全に対する意識も大きく変わりました。



※「先進安全自動車 (ASV) に関する調査・研究報告書」より抜粋

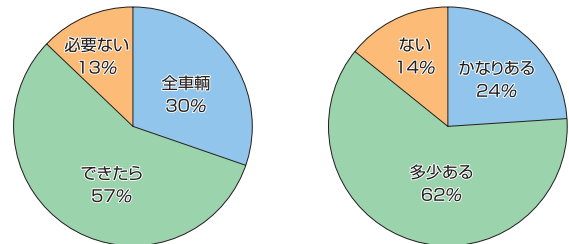
●ドライバーアンケート

実証実験で「安全性向上」と評価。ドライブレコーダー「必要」87%。

実験後のアンケートでドライバーの多くが「搭載装置により安全性が向上した」と回答。特にSRは、アクセルの踏み加減やハンドル操作を記録するため、平均燃費も向上しました。

ドライブレコーダーの活用 (SR) について

Q:ドライブレコーダーの装着を、どう思いますか? Q:ドライブレコーダーの結果により、管理者から何らかの指導がありましたか?



その理由

- 安全運転の技量やマナー向上に役立つ。
- 運転に対して、以前より少しは自分の言われた癖を思い出し、安全運転をするようになった。
- 安全運転をしていたつもりだが、直さなければいけない点がたくさんあった。

●まとめ

データ・テック製の映像記録型セーフティレコーダ (SR) を推奨!

安全自動車特別委員会では、実証実験の結果、「セーフティー」「エコロジー」「エコノミー」の三位一体の改革を進め、さらに附帯効果として下記のような効果を確認しました。

- 使用燃料の削減効果
- ドライバー間で競争意識が働き、資質の向上が図れること
- 交通事故が激減すること (実施実験中の事故はゼロ)
- タイヤの磨耗度が低くなること
- 事故の減少に伴い、任意保険の保険料が軽減できること

	燃費	走行距離	使用燃料	使用差
装着前	2.7km/L	100万km	370.370L	
装着後	3.8km/L	100万km	263.158L	107.212L

※燃料削減率 107.212L×95円/L=10,185.140円
ASV車輛による燃料の削減効果は、100キロ走行時点で10万7,000リットルにも及び、その削減率は車輛代にも値するものである。

当協会は次年度もASV機器導入助成事業を引き続き行うとともに、「コンプライアンス推進特別委員会」を新たに発足。次の目標に向けて動き出しています。

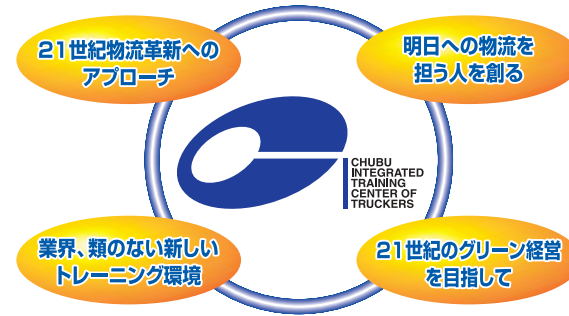
今回の実験を通し、ASV装置としてドライブレコーダが有効であることがわかりました。当協会ではその中で最も効果的なデータ・テック製の映像記録型「セーフティレコーダ (SR)」を推奨しています。

SRレポート SRを中部トラック総合研修センターに展示しています。

充実した設備で実践的な研修が受けられる優れたトレーニングステージ。

■中部トラック総合研修センターとは

中部トラック総合研修センターは愛知県名古屋市の東側、西加茂郡三好町の広大な丘陵地に位置し、4つのコンセプトを基に平成3年 (1991年) 11月に設立、開所しました。

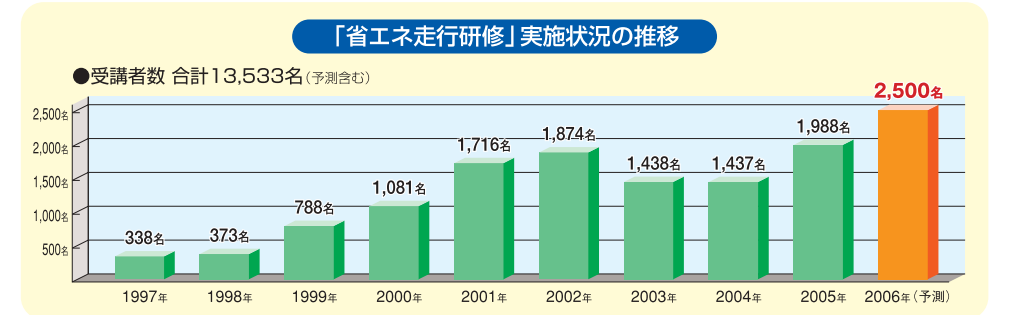


10万m2の敷地に充実した諸施設

財団法人 中部トラック総合研修センター殿
〒470-0207
愛知県西加茂郡三好町大字福谷字西の洞21-127
TEL: 05613-6-1010 FAX: 05613-6-1210
E-mail: center@chubu-truck.or.jp URL: http://www.chubu-truck.or.jp

■実績: 総研修人数56,335名 (1991~2006年)

運送事業者の人員育成、安全運行実践等々を行ってきています。最近の「省エネ走行研修」実施状況の推移 (右図) を見るとグラフの傾向で意識が高い事がわかります。



環境対策促進のための一翼



物流業界も、環境対策に取り組むことで、新しい企業風土をつくりあげ、エコドライブの推進で事故の減少効果という安全も確保されました。環境への意識の高揚がドライバーにとっては「プロ意識」を一段と高めることに役立ち、物流の進化とともに、環境・安全・営業力強化の三要素がこれからの「人づくり」には欠かせない条件となっていきます。そして、この「環境機器展示コーナー」は、環境対策促進のための一翼となっていくものと確信しています。

●SRの展示

昨今の地球環境への運送事業の役割としての課題に即応するため、必要な機器の周知、有効活用の一助としての環境機器展示コーナーを玄関ロビーに設けデータレコーダーを中心に展示しました。この試みは、当センター開所記念式典事業の一つとして2006年9月15日に合わせ開始しました。展示内容は、関連各社に協力を要請し現物展示、必要資料の自由配布を行っています。

データ・テックでは、EMSの認定機器として3機種のうち、SRVideoを展示しています。そして3機種のリーフレットを自由にお持ち帰りいただいています。



データ・テックはSRVideoを展示

専務理事 安藤 小四郎 様にインタビュー!

◎ 受講した方々の印象は?

A 異口同音に社員の磨きに適合した内容と体験が強く受講者に印象を与え、また人と、環境にやさしいエコドライブのために、継続して同僚たちにも参加させてほしいという要望が多々あります。

◎ 個別研修のエコドライブでは?

A 常日頃から燃費は気にしていましたが、終了後はさらに意識が高まり数%の改善が見られ、研修内容と体験走行の的確さが生かされているものと評価されています。